

産業建設常任委員会

(令和6年8月1日)

(現地調査)

② 厚真浄化センター

(事務調査)

② 下水道の現状（今後の事業の見通し）について

建設課上下水道グループ

1. 下水道事業の現状

快適な居住環境を確保するため、厚真市街地（139ha）に公共下水道事業を導入、その他の地域については、合併処理浄化槽事業を導入し、厚真町全体の生活雑排水の処理、水洗化による生活環境の保全とともに、公共用水域の水質汚濁防止をはかっている。

(1) 下水道の普及状況			行政人口	4,255 人	(R6.3 末)
	人口	水洗化済	接続率	水洗化率	備考
公共下水道	1,631 人	1,618 人	99.2%	38.0%	
合併処理浄化槽	2,624 人	2,043 人	77.9%	48.0%	単独を除く
合計	4,255 人	3,661 人		86.0%	

2. 厚真町公共下水道事業の概要

1) 事業の経過

本町では、家庭及び事業所からの雑排水は道路側溝や排水管により排除されていた。この雑排水は水質汚濁や悪臭などによる生活環境の悪化の原因となり、将来的に厚真市街地の健全・持続的な発展をとげるためには、生活雑排水の処理、水洗化による生活環境の保全とともに、市街地からの雑排水の大半が流入する厚真川の水質汚濁防止に関しても早急な対策の必要性があり、平成7年度に策定した『厚真町新総合計画』において公共下水道事業の導入を施策に加えた。

- ① 平成10年 下水道基本計画の策定し下水道法及び都市計画法の事業計画認可取得
- ② 平成11年度から污水管整備に着手
- ③ 平成13年度から平成17年度 污水終末処理場（厚真浄化センター）の整備
- ④ 平成16年3月 供用の開始（一部）
- ⑤ 認可計画の変更（7回） 実近は、令和3年度に第8次計画を策定し現在に至る。

2) 施設の概要

名 称	厚真浄化センター	名 称	本郷ポンプ場
所在地	厚真町表町191番3	所在地	本郷276番地の1
敷地面積	13,768㎡	敷地面積	320㎡
建物面積	鉄筋コンクリート造	建物面積	鉄筋コンクリート造
	地上1階、地下1階		地上1階、地下1階
	建築面積 1,160.44㎡		建築面積 64.66㎡
	延床面積 1,438.77㎡		延床面積 122.26㎡
処理方式	オキシデーションディッチ法	建設費	133百万円
建設費	1,239.5百万円	マンホールポンプ所 4箇所（京町、新町3箇所）	
供用開始年月日	平成16年3月26日		

3) 計画の概要

	認可計画（現計画）
計画処理面積	139ha
計画処理人口	1,700人
計画汚水量	731㎥/日（日最大）
排除方式	分流式

4) 公共下水道事業の整備について

補助事業 平成11年度～平成19年度
事業費 31億6千万円

5) スtockマネジメント計画

平成29年度計画策定

3. 合併処理浄化槽事業の概要

- ① 平成2年度から町全域で浄化槽設置整備事業（個人設置型）の導入
- ② 平成19年度から浄化槽市町村整備推進事業（継続中）の導入

1. 合併処理浄化槽の設置について

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
整備基数	26基	31基	45基	34基	18基	11基	12基

R5年度末浄化槽設置基数

町管理型	624基	個人設置型	163基	合計	787基
------	------	-------	------	----	------

4. 下水道事業会計の状況

(単位：千円)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
料金収入	61,910	62,813	59,448	59,144	58,903	58,385	57,941
（下水道）	36,781	36,766	36,166	35,804	35,446	35,092	34,741
（浄化槽）	25,129	26,047	23,282	23,340	23,457	23,293	23,200
建設改良費	91,977	64,188	53,045	142,713	214,983	296,383	156,683
維持管理費	83,156	79,475	81,127	81,860	81,960	82,060	82,160
元利償還金	80,604	82,133	85,078	88,580	91,647	93,062	91,689

(単位：m³)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
有収水量（全体）	289,629	292,103	276,442	275,030	273,909	271,504	269,440
（下水道）	172,255	170,830	168,042	166,360	164,697	163,052	161,421
（浄化槽）	117,374	121,273	108,399	108,669	109,212	108,452	108,018

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
汚水処理減価（全体）	565円/m ³	553円/m ³	601円/m ³	619円/m ³	633円/m ³	645円/m ³	645円/m ³
（下水道）	645円/m ³	663円/m ³	679円/m ³	709円/m ³	726円/m ³	738円/m ³	740円/m ³
（浄化槽）	447円/m ³	397円/m ³	480円/m ³	490円/m ³	498円/m ³	508円/m ³	507円/m ³

※ 汚水処理減価とは、有収水量 1 m³当たりの汚水処理に要する費用
(維持費＋元利償還金) / 有収水量

(1) 下水道及び浄化槽使用料（税抜き）

基本水量(m ³)	8tまで	基本料金(円)	1,440円	超過料金	180円/m ³
-----------------------	------	---------	--------	------	---------------------

○利用人数の推移

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全体	3,470	3,547	3,581	3,685	3,710	3,725	3,661
（下水道）	1,598	1,640	1,650	1,670	1,673	1,657	1,618
（浄化槽）	1,872	1,907	1,931	2,015	2,037	2,068	2,043
水洗化率	75.8%	77.8%	80.5%	83.7%	84.8%	85.7%	86.0%

施設平面図

The diagram illustrates the layout of a facility with various rooms and a wastewater treatment system. A red arrow at the top right indicates the direction of wastewater flow. The flow starts from the left, enters a 'ポンプ井' (Pump Well), then moves to a 'スクリーン脱水機' (Screening and Dewatering Machine). From there, it goes to a '汚泥濃縮槽' (Sludge Concentration Tank), then to a '最終沈殿池' (Final Sedimentation Pond). The flow continues to an 'オキシデーションディッチ' (Oxidation Ditch) and finally to a '塩素滅菌池' (Chlorine Sterilization Pond). Other rooms include a '汚泥脱水機室' (Sludge Dewatering Machine Room), '見学室' (Lecture Room), '倉庫' (Warehouse), '電気室' (Electrical Room), '事務室・中央監視室' (Office/Central Monitoring Room), '自家発電機室' (Self-Generating Machine Room), '水質試験室' (Water Quality Testing Room), '玄関ホール' (Entrance Hall), '便所' (Toilet), '脱衣室' (Changing Room), and '給湯室' (Hot Water Room). A 'ポーチ' (Porch) is located at the bottom.

汚水の流れ →

スクリーン脱水機

ポンプ井

汚泥濃縮槽

最終沈殿池

オキシデーションディッチ

塩素滅菌池

汚泥脱水機室

見学室

倉庫

電気室

事務室・中央監視室

自家発電機室

水質試験室

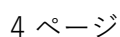
玄関ホール

便所

脱衣室

給湯室

ポーチ



※ 用語の説明

① BOD

生物化学的酸素要求量（微生物によって、無機化・ガス化するときに必要とされる酸素量）

② SS

水の中にある浮遊物の量

6. 公共下水道処理区域図

